

特集 知ろう 下水道

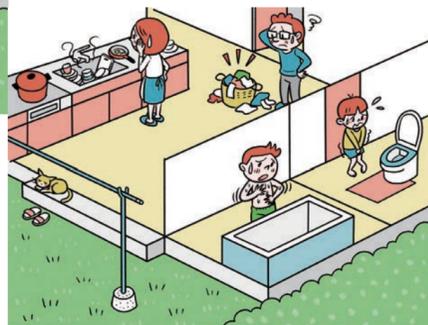
もしも 下水道 が使えなくなったら…!?

普段、当たり前のように使っている下水道が、突然使えなくなったらどうしますか？ 私たちの生活に欠かせない「下水道」。その役割を知ってください。
☎下水道局経営企画課(☎504-2265、☎504-2429)



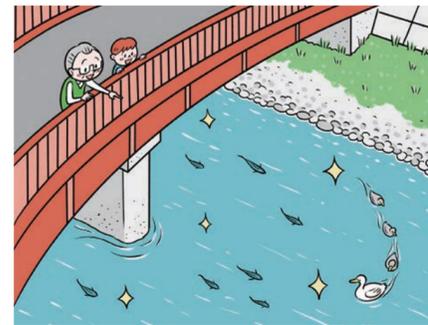
私たちは毎日当たり前のように水を使っています。使用後の汚れた水を、きれいに川や海に流すため下水道が整備されています。

例えば災害や事故など、何らかの理由で下水道が使えなくなったら…と想像してみてください。あらためて考えてみると、その大切さが実感できるのではないのでしょうか。



集中豪雨などが発生したとき、雨水が流れなければ、街は水浸しになってしまうかもしれません。浸水被害を軽減するため、市は、雨水幹線などを整備しています。(下記「浸水対策」)

家庭から出される生活排水だけでなく、雨水の排水処理も下水道の役割です。私たちの快適な暮らしを支えています。



川遊びや海水浴ができるのも、下水を処理してきれいになった水を流しているからこそです。「水の都 ひろしま」の、美しい川や海を下水道が守っています。



もし、汚れた水をそのまま川や海に流すことになったら…。嫌な臭いや見た目の悪さだけでなく、街が不衛生になり、伝染病の原因にもなりかねません。そこにすむ魚や動植物にも悪影響を及ぼしてしまいます。

どれくらい知っていますか？ 下水道のこと

上のイラストのように下水道が使えなくなったら、衛生的で快適な暮らしはたちまちできなくなってしまいます。そうならないよう、さまざまな設備や施設を整え、管理・運営しています。



下水道局 経営企画課 野中聡史 主事

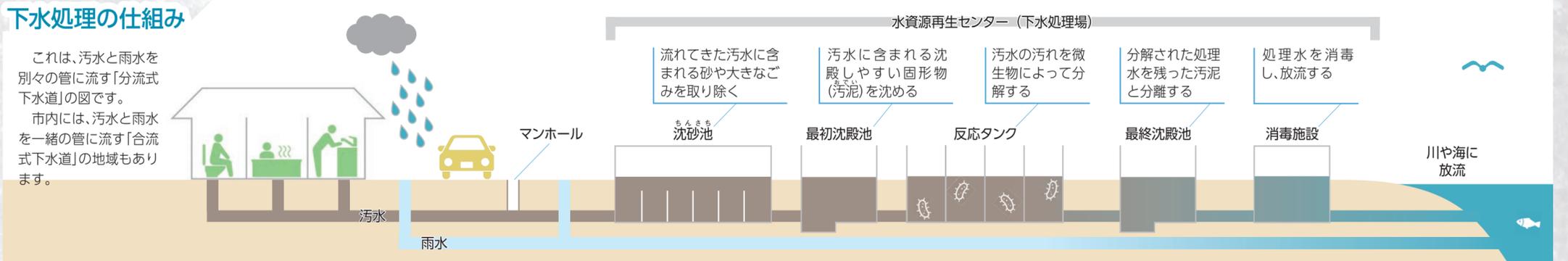
下水道の役割

下水道には主に三つの役割があります。

- **汚水の処理**
街をきれいに保つ
- **浸水対策**
雨から街を守る
- **水質改善**
川や海の水質悪化を防ぐ

下水処理の仕組み

これは、汚水と雨水を別々の管に流す「分流式下水道」の図です。市内には、汚水と雨水を一緒に流す「合流式下水道」の地域もあります。



汚水の処理 健全な水循環・資源循環のために

24時間働き続ける 水資源再生センター(下水処理場)

市で1日に処理される下水(汚水)は約45万m³。25mプール約1,200杯分です。家庭や事業所から出た下水は、下水管を流れ、水資源再生センターに集められます。集められた下水は大きなごみなどを取り除いた後、バクテリアなどの微生物によって汚れ

が分解され、きれいになった処理水と汚泥に分かれます。処理水は、最後に消毒して、川や海に放流します。汚泥は脱水した後、肥料やセメントの原料、火力発電所の燃料として100%リサイクルしています。

もっと下水道を知ろう! 下水道講座

【対象】同じ地域に住む10人以上の成人
【日時】10月3日(月)～来年3月10日(金)の10:00、13:30から(土・日・祝・休、年末年始を除く)
【内容】下水道の役割と仕組みの話や施設見学 など
【申し込み方法】希望日の1カ月前ま

で、所定の用紙をファクスで。所定の用紙は市ホームページで
市HP ページ番号 [2640]
【問い合わせ先】下水道局経営企画課(☎、☎上記)

●小学生対象の出前講座もあります。市HP ページ番号 [2643]

微生物いろいろ

24時間休むことなく汚れを食べてくれる微生物は約200種類。その一部を紹介。二次元コードをスマホなどで読み込んで動く様子を見てみよう!

クマシ 約0.2~1mm



スピロストムム 約0.15~0.4mm



下水道講座(左記)では顕微鏡で観察できます!

浸水対策 安心・安全な暮らしを支えるために

いったんためておいて、安全に流す

集中豪雨などが発生した場合でも街が浸水しないように、雨水の一部をいったんためるための雨水幹線や雨水貯留池を整備しています。右写真は令和4年3月末に供用開始した八木・緑井地区雨水幹線の様子です。地中に設置した直径5.25mの大きなトンネルに雨水をため、放

流先の川があふれないようにします。また、マツダスタジアムの地下には、直径100m×高さ3.85mの雨水貯留池があります。最大1万4000m³もの雨水をためることができるこの貯留池は、広島駅周辺を浸水から守っています。



マツダスタジアムの地下に入って、大きさを実感してみよう! 施設見学



実際に行ってみると、巨大な施設にきっと驚くはず。見学をした人には、マンホールカード(右)をプレゼントしています。

【日時】毎週火曜日、木曜日の14:00~15:00(祝・休、8月6日、年末年始、

点検日などを除く)
【申し込み方法】見学希望日の2カ月前から前週の月曜日までに、市ホームページで。各回定員10人
【問い合わせ先】下水道局維持課(☎241-9223、☎248-8273)

市HP ページ番号 [2746]

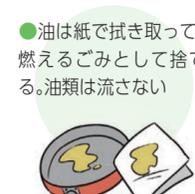
私たちにできること 正しく使って、下水処理に負担をかけないように



● 熱いお湯は流さない(排水管が傷むため)



● ペランダの洗濯機の排水はお風呂場などに流す。雨水のための排水溝に流さない



● 油は紙で拭き取って、燃えるごみとして捨てる。油類は流さない



● お風呂の排水溝に髪の毛を流さない。歯ブラシなどで取る



● トイレに流しているのは水に溶けやすいトイレットペーパーだけ。ティッシュペーパーや紙おむつなどを流さない



● 洗剤は適量を使う



● 雨水ますに落ち葉やごみを捨てない



● 汚水ますやマンホールにガソリンなどの危険物を流さない